

平成27年7月17日
国土交通省港湾局
国立研究開発法人 港湾空港技術研究所
一般財団法人 沿岸技術研究センター

第14回 国際沿岸防災ワークショップ ～ハリケーンカトリーナから10年～ を開催します

近年、地球の気候変動に伴う海面上昇や台風の巨大化によって沿岸域における高潮・高波災害のリスクが高まっていますが、本ワークショップでは、ハリケーンカトリーナから10年になる今回、災害からの復旧・復興、高潮に関する最近の研究、各国における高潮および海面上昇への対応などについて議論したいと考えております。技術者・研究者だけでなく、行政関係者や学生を含めた沿岸防災に関係する多くの方々が参加されることを期待しています。

日時 2015年7月27日（月）10:00～17:30（受付9:30～）
場所 コクヨホール（品川駅港南口（東口）から徒歩5分）
※ 所在地：東京都港区港南1丁目8番35号
参加費 無料
参加申込 次のホームページよりお申し込みください。
<http://www.cdit.or.jp/>（締切：7月22日（水））
※ 定員になり次第締め切らせて頂きます。

《日英同時通訳あり》

主催：国土交通省港湾局
国立研究開発法人港湾空港技術研究所、
一般財団法人沿岸技術研究センター



問い合わせ先

国土交通省 港湾局 技術企画課 技術監理室 正岡・田中	電話 03-5253-8682（内 46-613）
	FAX 03-5253-1653
国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 企画課 山本・吉田	電話 046-844-5040
	メール kikaku@ipc.pari.go.jp
一般財団法人 沿岸技術研究センター 企画部 佐々木・中村	電話 03-6257-3702

プログラム・講演者

10:00-10:10 開会式	
10:10-10:50 基調講演「Threatening future storm surge disaster and a concept of comprehensive countermeasures」	
磯部 雅彦	高知工科大学学長
10:50-12:20 セッション1「災害からの復旧・復興」	
Mr. David J. Leach	アメリカ陸軍工兵隊 (USACE) プログラムディレクター
Dr. Eric C. Cruz	フィリピン大学教授
鈴木 高二朗	港湾空港技術研究所チームリーダー
12:20-13:30 昼食	
13:30-15:00 セッション2「高潮に関する最近の研究と対策」	
Dr. Jeffrey A. Melby	USACE 工学研究所グループ長
森 信人	京都大学准教授
藤木 峻	港湾空港技術研究所研究官
15:00-15:15 休憩	
15:15-16:45 セッション3「各国における沿岸災害対策」	
Ms. Roselle E. Henn	USACE 副ディレクター
小塚 正啓	東京都水防対策担当課長
三村 悟	国際協力機構地球環境部次長
16:45-17:25 パネルディスカッション「今後の高潮防災について」	
コーディネーター	高山 知司 (沿岸技術研究センター沿岸防災技術研究所長、 京都大学名誉教授)
パネラー	講演者の皆様
17:25-17:30 閉会式	